

自己評価公開シート

くるみ幼稚園
園長 土居 恵子

1. 本園の教育目標

学校教育法に基づき、未来に希望をもち、たしかに生きぬく人間づくりの教育を根底におき、心身ともに健康で個性豊かにたくましく、あたたかい思いやりのある子どもを育成する。

【めざす子ども像】

なにごともしゃべり がんばる子〈自己実現の原則〉
よく考え 夢を大きく ひろげる子〈文化創造の原則〉
なかよく 明るく のびゆく子〈社会実現の原則〉

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領をあらためて共通理解をし、幼稚園の教育課程の内容の充実・教育の質向上をはかりたい。また、幼児教育無償化に伴い、保護者のニーズを確認することで、本園が今後担う役割について検討。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	幼稚園教育要領を全教職員で共通理解し、日々の保育の中での具体的な場面ついでの話し合いを行っている。
幼稚園の状況を踏まえて、中・長期的なビジョンと計画を策定する。	幼児教育・保育無償化が施行される中、園児数の減少をくい止めるためには、保護者のニーズにどうこたえることが必要か、また今後どう変化すべきか検討している。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	幼児の発達の姿を捉える研修を定期的実施するとともに、職員間で日々の子どもの姿について話し合う機会増やし、常時にお互いの保育を公開している。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情の適切な対応をはかる。	保護者との懇談会を定期的実施するとともに、行事等について連絡帳での感想等を職員間で共有しながら、行事等の実施時期や見直し、課題を検討する。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本園の課題解決に向け、全教職員がその課題を共通理解し、それぞれ自己評価し、取り組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践することができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者情報が市教育委員会や警察から、随時提供されるようになってきたが、それに対する園での対応が不十分である。今後、施設面での対応と教員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの共通理解をはかる。
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成をするとともに、医療・福祉の関係機関との連携を密にする。
園に対する保護者の満足度の把握	懇談会やアンケート等をもとに、保護者が期待する幼稚園像を把握し、また現代社会において求められる幼稚園の姿を確認する。

6. 学校関係者評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。